

所感

浦川 基継

セントポール姉妹都市提携 60 周年記念訪問団として、同行 28 万人都市ではあるがミネソタ州の中枢都市として流入人口は多いと感じる。

戦後及び国内初となる姉妹都市提携から 60 周年にあたるとして、セントポール・ナガサキ姉妹都市委員会のこれまでの取組みは、行政より民間での繋がりが強いものと感じた。

1. 国際親善平和栄誉賞贈呈式

第 50 代セントポール市長のジェームズ シャイベル氏に長崎市国際親善平和栄誉証が贈呈された。当時、シャイベル氏は、長崎市とセントポール市の友好関係を重視されるとともに、世界恒久平和の活動にも賛同され、米国からの初の平和モニュメント「地球星座」を寄贈いただいた。

2. セントポール・ナガサキ姉妹都市委員会夕食会

3. ピースパイプセレモニー

市役所のビジョンオブピース像の前にて、ピースパイプセレモニーが執り行われた。このセレモニーは、ネイティブアメリカンの儀式で、平和のパイプであるピースパイプを回し飲みするものである。

4. セントポール市長表敬

5. ヒロシマ・ナガサキ原爆展オープニングセレモニー

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館が被爆の実相を広く世界に伝えるために、セントポール・長崎姉妹都市委員会の全面的な協力を得て行われた。また、夢体験等で来場した子どもたちによる原爆の惨劇を伝える紙芝居では多くの拍手が聞こえた。

6. セントポール姉妹都市提携 60 周年記念 公式昼食会

セントポール市の主催により、公式昼食会が執り行われ、両市の交流のため、訪問団メンバーは、別々のテーブルに配席された。

7. 姉妹都市交流貢献者顕彰式典

姉妹都市の交流に貢献された歴代の両市長の顕彰式典が執り行われ、追悼の祈りを捧げた。これまで多くの人たちが両市の友好のために尽力されたことに感謝する式典となった。

8. 松田正美記念碑除幕式

両市が共同で設立した日本庭園の設計などを通して両市の交流拡大に尽力した松田正美氏の記念碑除幕式がセントポール市の主催で行われた。記念碑に関しては石のみであったが委員会の思いが伝わったものと感じる。

9. セントポールセインツゲーム始球式

セントポールを本拠地とするセントポールセインツの公式戦に招待され、市長と議長

が始球式を行った。雨天のため始球式後に移動となったが、地区のスポーツゲームとして盛り上がっていた。本市のスポーツ振興にもプロスポーツの誘致も一つの地域振興につながるものと感じる。

10. ランタンライティングフェスティバル

コモ公園で行われるお盆をテーマにした日本祭りで、日本の歌や踊りなどのステージイベントをはじめ、各ブースで日本の文化を体験できるようになっていた。

長崎検番が披露された際には、「もってこいコール」を堤 勝彦議員と一緒に行ったところ、会場が一体となって盛り上がり、非常にいい経験となった。

11. 最後に

これまで、姉妹都市委員会の長年にわたる取組みは今回の 60 周年の盛り上がりにつながったものと感じる。また、セントポールでの日本文化は委員会のメンバーを始めとした取組みにより浸透している。特にコモ公園における日本祭りは来場者 10,000 人以上の盛り上がりを考えると驚きを感じる。本市においても友好都市の文化を取り入れた感謝イベントを開催することも姉妹都市の友好に寄与できるものと判断する。これからも、継続した市民交流を主軸とした取組みや行政間の交流は世界都市としての長崎をアピールするためにも必要な事業と判断する。